

## 今回の特集 : 熔融スラグ

## 熔融スラグとは？

一般廃棄物や下水汚泥を 1200 以上の高温で燃焼・熔融し水冷で砂状にしたものです。

高温で燃焼させることによりダイオキシンの発生を抑制します。

重金属の溶出試験、成分分析試験、骨材としての物理試験により安全性が保証されています。

循環型社会構築のなかで、安全でクリーンな建設資材として注目されている材料です。(天然砂の代替材として注目されています)



これが熔融スラグです。

## 熔融スラグの安全性は？

当社では熔融スラグに関する各種の安全性を確認し、利用可能な熔融スラグのみを使用しています。

1. 重金属の溶出試験
2. 化学成分分析(アル骨と膨張率を含みます)
3. コンクリート用砕砂としての各種物理試験

## 熔融スラグ入りコンクリート製品とは？

マエタでは熔融スラグを細骨材の一部に置き換えたコンクリート製品を製造販売しております。(商品名:エコクリーンとエコピース)

スラグの混入率は、リサイクルの理念からはできる限り大きくしたいところです。当社では細骨材の質量比 30%を標準としております。ガイドラインでは 50%まで許容しておりますが、配合上での特別な考慮を必要としない混入率として 30%を採用しております。(一部地域では 20%)



エコピース  
(MXドレーン)



エコピース  
(MU暗渠)

側溝、境界ブロック、水路、ベンチルーム、河川用  
積みブロック、張りブロック等多くの製品があります  
詳しくはお問い合わせ下さい



エコクリーン  
(インターlockingブロック)  
エコマーク製品です

当社のスラグ製品は、一部の県の認定製品です

## 適用範囲は？

30N/mm<sup>2</sup>以下の無筋及び鉄筋コンクリート製品に適用しております。

高強度製品や遠心成形製品、プレストレストコンクリート製品は実績が十分となるまで適用除外としております。

また当面の間は、重要構造物も適用除外としております。  
発注者との協議により適用範囲を拡大することも可能です。

## 熔融スラグに関する基準類：熔融スラグに関して参考とする各基準類を以下に示します

1. TR A 0016 一般廃棄物、下水汚泥等の熔融固化物を用いたコンクリート用細骨材(コンクリート用熔融スラグ細骨材)・・・日本工業標準調査会 標準部会
2. 熔融スラグの有効利用に係わるガイドライン(案)・・・ゼロエミッション社会を目指す技術開発委員会/廃棄物・熔融スラグ利用技術等専門部会(国土交通省東北地方整備局)
3. ごみ熔融スラグを細骨材に用いたコンクリート製品製造のための指針(案)・・・全国コンクリート製品協会東北支部市場開発委員会/ごみ熔融スラグ利用ワーキンググループ

 前田製管株式会社

URL: <http://www.maeta.co.jp>

本社 : 〒998-8611 山形県酒田市上本町 6-7 TEL 0234-23-5111 FAX 0234-24-7002

技術開発本部 : 〒998-8611 山形県酒田市上本町 6-7 TEL 0234-23-5115 FAX 0234-23-0093

工場: 北海道/十和田/青森/秋田/角館/水沢/雫石/山元/宮城/本社/天童/東根/米沢/郡山/宇都宮

支店: 札幌支店/青森支店/秋田支店/岩手支店/仙台支店/山形支店/酒田支店/福島支店/栃木支店/新潟支店/東京支店